

和口の氏神様の由来（和口）

和口のお宮には、「高根」「六所」「地之宮」の三つの神様が祭られています。

お宮の東に百m程のあたりを、昔「高根の森」と呼んでいました。土器が出土し、高根神社の前進が祭られていたのではないかと伝えられています。

また、旧和口橋東三百m程の所に「大明神」と呼ばれる地名がありました。畑として耕作していたが、あるとき、病が治らず困っていました。古老から宮地であったこと聞き、祈祷しお清めすると、病が治り元気になったとのことでした。

地之宮は、村の南西部に祭られていたそうです。

この三柱の神様が現在地に合祀され、村中の人々の信仰の対象として祭られてきました。